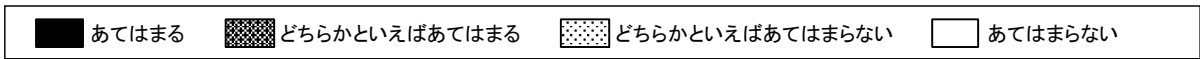


令和2年度 岩倉中学校 学校評価(生徒・保護者・教職員アンケートの結果と考察)



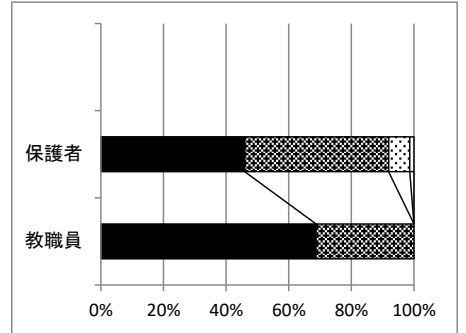
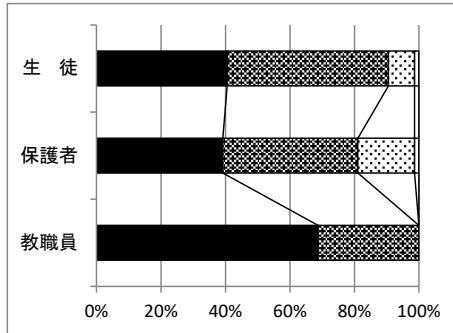
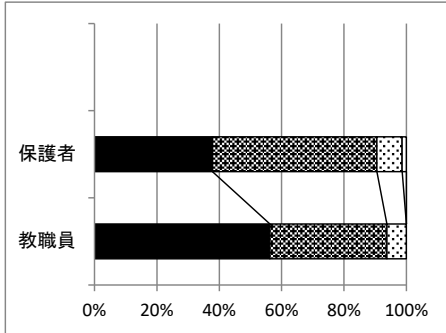
調査回答者数 生徒:74名, 保護者:74名, 教職員:16名

1 学校に関する項目

【1-1】 学校は、授業や諸行事等、教育活動がよく公開されている。

【1-2】 魅力ある学校行事(体育祭・文化祭・合唱コンクール等)が行われている。

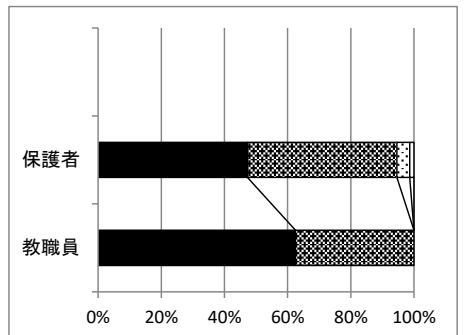
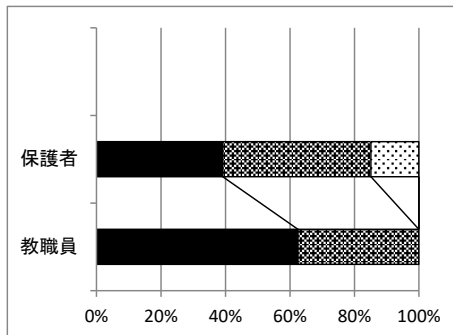
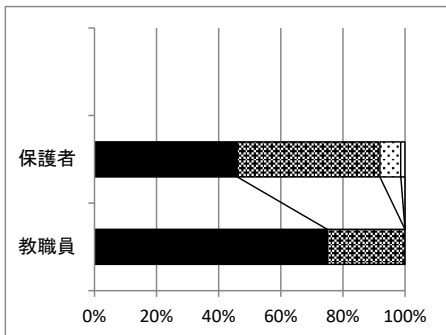
【1-3】 学校は、家庭への連携を積極的に行っている。



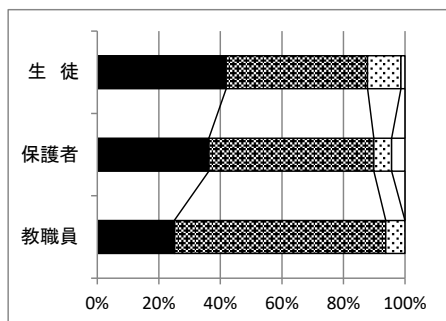
【1-4】 学校は、問題が生じた場合など、迅速に対応できている。

【1-5】 PTA活動など、家庭と学校の協力関係がある。

【1-6】 学校訪問者(保護者も含む)に対して、教職員の対応はよくできている。



【1-7】 学校の施設・設備は、安全で快適に生活できるように整えられている。



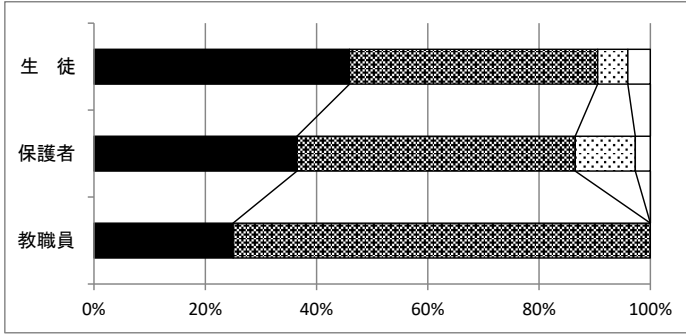
学校評価のアンケートは、保護者に加えて生徒および教職員にも実施しています。評価の項目については、生徒・保護者・教職員に対して、それぞれ同じ内容を質問し、比較できるようにしています。また、評価については、4段階の回答とし、設問に対して肯定的か否定的かの判断ができるようにしています。

1 学校に関する項目に対しては、全体的に生徒・保護者とともに「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」が約80%を超えており、学校の取組を概ね肯定的に捉えており、昨年度より全ての質問項目においてポイントが上がっています。特に、【1-3】、【1-4】では、「あてはまる」割合が昨年度よりそれぞれ11、12ポイント上がっています。家庭との連携が円滑に図れ、学校内におけるさまざまな問題に対応している学校の取組を肯定的に理解してくれている様子が分かります。昨年度からの課題であった「家庭との連携」、「学校の取組の理解」について改善が図られていると考えます。来年度も、さらに家庭や地域との連携を図りながら学校運営を向上させていこうと思います。

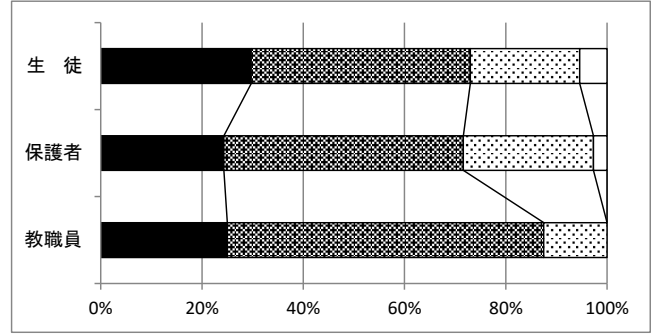


2 子どもに関する項目

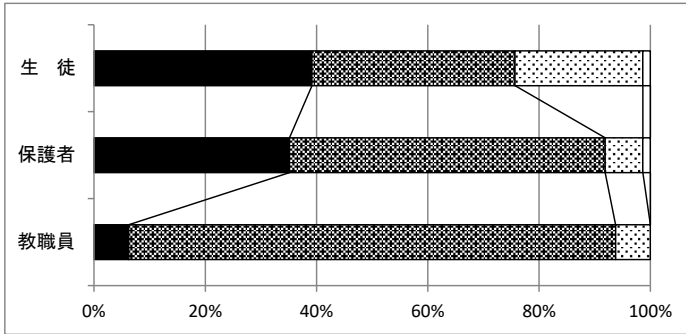
【2-1】子どもは、学校生活を楽しいと思っている。



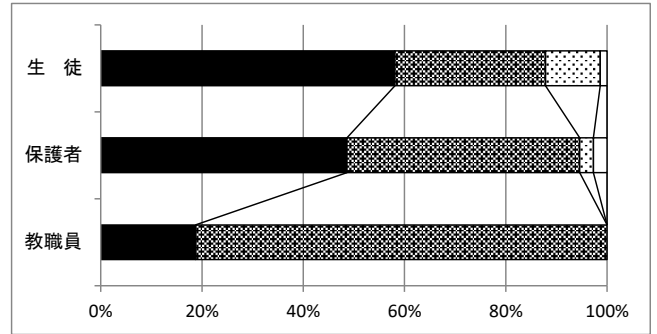
【2-2】子どもの学習意欲は向上している。



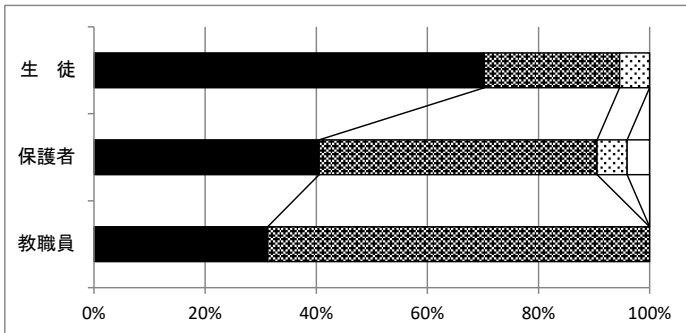
【2-3】あいさつなど社会的なマナーが身についてきている。



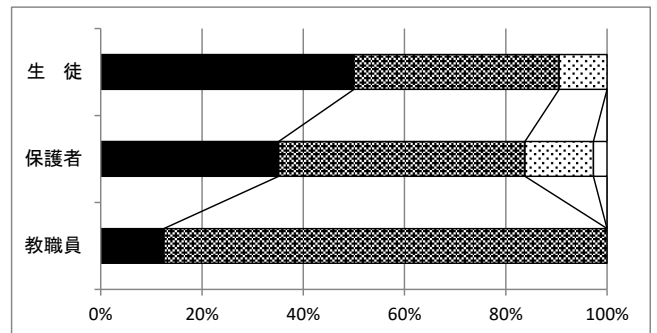
【2-4】子どもは、よい友人関係を作っている。



【2-5】他人を思いやる、命を大事にするなど、子どもの豊かな心が育ってきている。

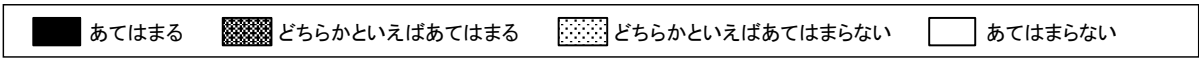


【2-6】基本的な生活習慣が身についてきている。



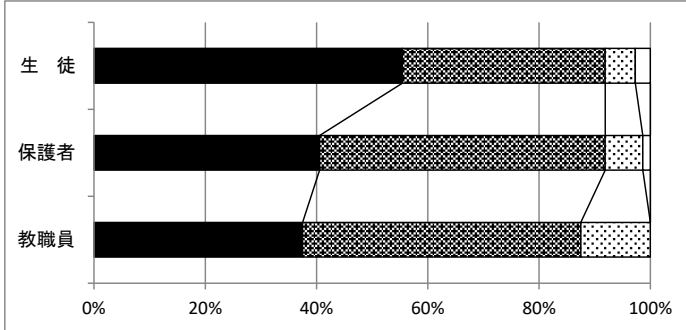
2 子どもに関する項目では、生徒・保護者とも「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の評価が多いことが分かります。しかし、教職員の評価はそれほど良くなく、「あてはまる」の割合が少なく、「どちらかといえばあてはまる」の割合が多くなっています。ここから、教職員が十分に満足いく成果として上がっていない認識であることが分かります。また、【2-2】、【2-3】の質問について、生徒は昨年度よりあまり肯定的には捉えられていません。昨年度からの課題であった基本的な挨拶やマナーの確立、学習に対する意欲の向上については、引き続き来年度も学校の課題として、「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合がすべて80%を超えるように指導・支援していきたいと思えます。しかし、【2-4】、【2-5】の質問については、生徒と保護者が昨年度より「あてはまる」割合が、10、15ポイント上がっており、良好な友人関係がつかれている様子が伺えます。

昨年度の調査と比較してみると、それぞれの質問について、肯定的な評価ができていますが、学習意欲や社会的なマナーの向上に努めなければいけないと感じます。来年度には、小学校と中学校の学びの連続性を生かした取り組みが、鳴門教育大学との連携を図りつつ始まります。そういった機会を生かしながら、学校全体の授業改善を図り、学ぶ意欲やよりよく生きていこうとする資質や態度を育てていこうと考えています。

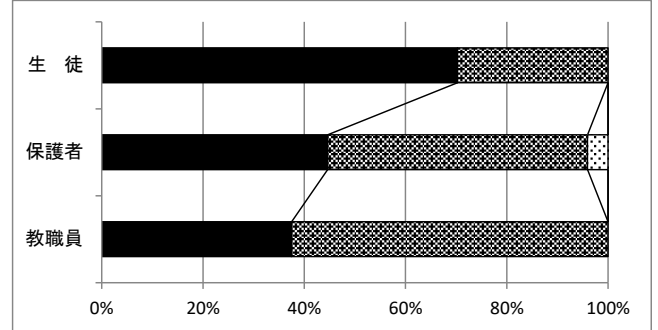


3 教員に関する項目

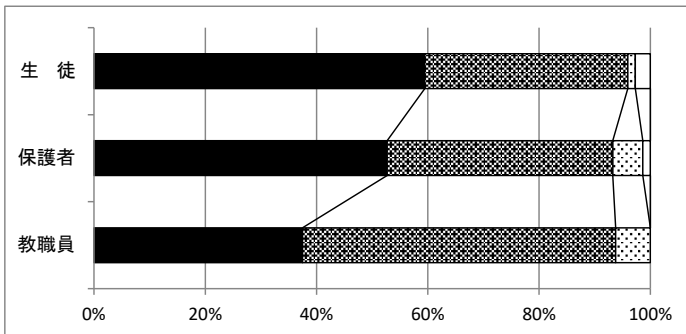
【3-1】先生は生徒(保護者)の意見, 相談をきちんと聞いてくれる。



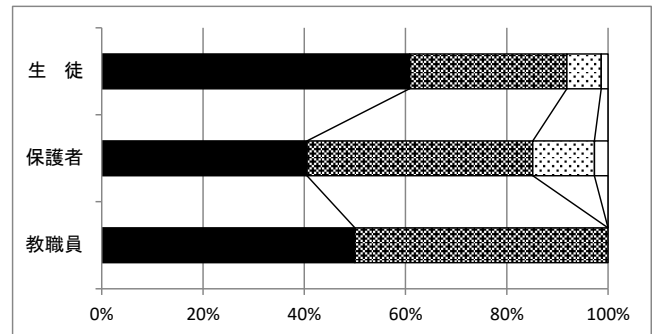
【3-2】先生は子どもの安全指導に努力している。



【3-3】先生は教室環境, 学校環境の美化に努めている。

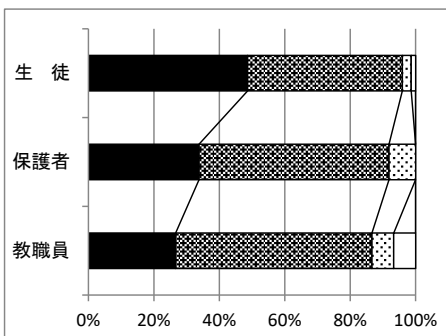


【3-4】先生は子どもたちの人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。

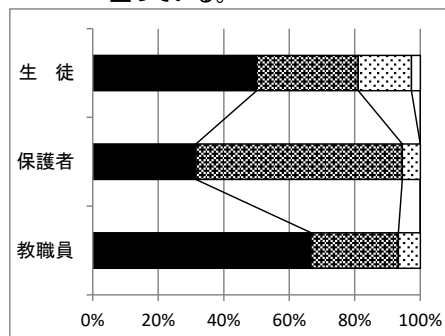


4 授業に関する項目

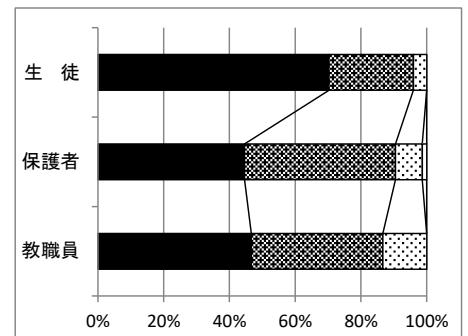
【4-1】指導方法を工夫し, わかりやすい授業が行われている。



【4-2】教科によって授業を2名の先生で行っていることは, 学力向上に役立っている。



【4-3】「命の大切さ」や「人権」についての学習が十分行われている。



3 教員に関する項目について、教職員の取組に関して、生徒は、すべての質問に対して「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の肯定的な評価が昨年度より高くなっています。【3-1】については、「どちらかといえばあてはまる」が10ポイント上がっており、【3-2】については、否定的な回答がありませんでした。また【3-4】では、「あてはまる」が10ポイント上昇しています。それに伴って、保護者の評価も昨年度より上がっています。生徒との教師間の信頼関係も良好であり、生徒が安心感を持って過ごしている様子が見られます。ただ、【3-4】について、保護者の肯定的な捉え方が、生徒や教職員よりも低くなっています。学校の取組を理解してもらえるような学校からの発信が必要であると感じます。今後も、生徒や保護者との信頼関係づくりに努め、生徒が安全・安心して学校生活を送れるよう指導・支援の充実を図っていきとともに、学校の取組への理解を深めていきたいと考えています。

4 授業に関する項目については、生徒は、概ね肯定的な評価が表れています。保護者も分かりやすい授業づくりに肯定的に捉えてくれていますが、昨年度と比較すると「あてはまる」と回答した保護者が少なくなっています。【4-2】からもT、Tによる学習指導が十分ではないのではないかと考えます。今年度の実践の振り返りを通して、T、Tによる学習指導の充実を図りながら、よりよい授業改善に努めることで、生徒の学力向上をめざしていきたいと思えます。【4-3】については、90%以上の生徒や保護者が肯定的に捉えています。命や人権についての学習は、これからも学校全体で積極的に取り組んでいきたいと考えています。